

1 より住みやすい地域社会をつくるために

～取り入れる2つの価値観～

私権と公共の関係を調整する

私権と公共の調整が図られないと公共優先になる
個人が声を上げなければ一律の制限になる

(例)

コロナ禍における、まん延等防止措置や緊急事態宣言
公共は公衆衛生を優先 → 休業要請・外出自粛要請

◎個人に必要以上の我慢を強いていないか

道徳・倫理・公平性などを守る

生活の利便性を良くしようと経済性優先で行動すると、
道徳観・倫理観・公平性などが損なわれかねない

(例)

住民票等のコンビニ交付
窓口交付より手数料を安く設定
→ 目的は、窓口の混雑緩和など

◎公平性が保たれているのか

住みやすさを
守るための価値観

① 私権と公共の関係を調整するとは

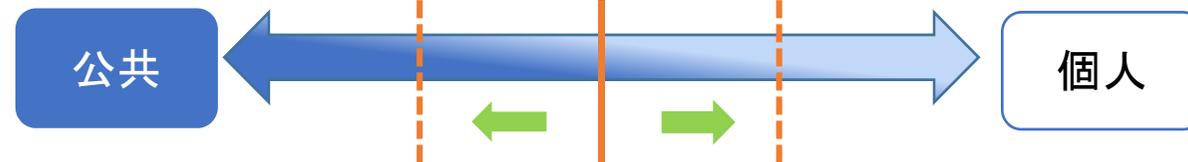
私権(個人)と公共の間に、絶対的で明瞭な線引きは存在しない



個人の事情は様々なので「公共の利益」を優先すると
場合によっては住みづらくなる可能性がある



個人から意見が出るように促すなど、個人の事情と公共の利益を
調整(線引きを変更)できるようにする必要がある



事情によって線引きが変わる

●個人は公共の制限を受け入れるだけでなく発言するなど、
互いの関係を調整していくためにどのようなことができるか？

② 道徳、倫理、公平性などを守るとは

【事例】「満点エコボカード」がオークションサイトで転売されている

○事業目的はボランティアやエコロジー活動の推進
(ポイントはインセンティブではなく御礼)

○公共施設の利用等に使えるため「満点エコボカード」を金券と捉える人がいる
(売買の対象となっている)

市の考えもつかないところでエコボカードがボランティアやエコロジーを促さない可能性があることを意識して制度を考える必要がある。

人は無意識のうちに経済性優先の行動をとってしまうため、経済的な動機付け(価格の設定など)による政策誘導が道徳、倫理、公平性などを毀損することがないか意識することが必要と考えます。

※「いちかわエコボカード」

市の指定するボランティア活動やエコロジー活動に参加するとポイントが付与される地域ポイント制度。100点で満点となり、満点エコボカードで市民プールや動植物園への入場などができる。

2 時代の変化を取り入れていく

現基本構想と策定時から現在までの変化(前回審議会)

- ・新型コロナウイルス感染症蔓延に伴う生活様式や働き方の変化
- ・気候変動の影響による水害の激甚化
- ・技術革新(AI、ICT、IOT等)によるサービスの多様化 など



様々な変化に対応するために「実施計画」を毎年度見直す(前回審議会)

●社会情勢の変化を取り入れていくための手法としてどのようなものがあるか？